

Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 4:65-69(1995)

福井県における ホンシュウモモンガの生息状況

松村俊幸¹

ホンシュウモモンガ *Pteromys momonga* は、主に本州に分布するげっ歯目リス科に分類され、頭胴長14~20cm、尾長10~14cm、体重150~220g程度の小形哺乳類である（阿部ほか1994）。また、日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブックにおいて、希少種に挙げられており（環境庁自然保護局野生生物課1991），保護の必要な種である。

福井県内では、東谷（1966）が県下一円に生息すると記載しているが、確認日や場所の記載はなく、詳しい生息状況は不明である。これまでの正確な記録は、1975年7月、大野市上小池における1頭（福井県自然保護課1982）と、1982年5月に和泉村小谷堂地係の標高800mの原生林で捕獲され、後日同地点で放された記録（福井県鳥獣保護センター友の会1983）の2例のみである。以上のことから、福井県における本種の記録はたいへん少ない。

ところが、1993年11月、筆者は和泉村の山間部において、本種の死体を採集し、そのほかにも生息情報を得ることができたので、今回合わせて報告する。

本文に先立ち、計測を手伝って下さった福井県希少猛禽類調査委員会の谷口明里氏、貴重な記録を提供いただいた福井県鳥獣保護員の久保藤士継氏、石川県自然保護課の林哲氏、文献のご教示を下さった富山県自然保護課の湯浅純孝氏、石川県白山自然保護センターの水野昭憲氏に謝意を表する。

1. 今回の記録

1993年11月2日、カスミ網の密猟の取り締まりのために、福井県大野郡和泉村の面谷源流部に入山し、標高930mの荷暮川側にぬける尾根上の網場内において、捨てられたカスミ網の検査をしていたところ、ニホンリス *Sciurus lis* より小型の哺乳類が1頭とアトリ *Fringilla montifringilla* が1羽、カスミ網に絡まったまま死体で発見された。この小型哺乳類は、前足と後足の間の飛膜が既に破れて一部しか存在しなかったが、耳が丸いこと、目が顔に比して大きいこと、前足外側の針状軟骨が存在したこと、性器の形態により、ホンシュウモモンガのメスと同定した。各部の計測値は、全長26.5cm、尾長（肛門から計測）13.8cm、前足長2.4cm、後足長3.8cm、耳長2.0cmであった（写真1）。死体は、各部の計測の後、80%アルコールで液浸標本として福井県自然保護センターで保存した。

状況から推察すると、尾根を越えて移動しようとした本個体が、密猟のために張られたカスミ網に捕らえられ、死亡後網と共に捨てられたか、網に絡んだまま捨てられたため死亡したと考えられる。この網場は、数日前まで使用されていたことが確認されており、死後1~2日程度と考えられる。

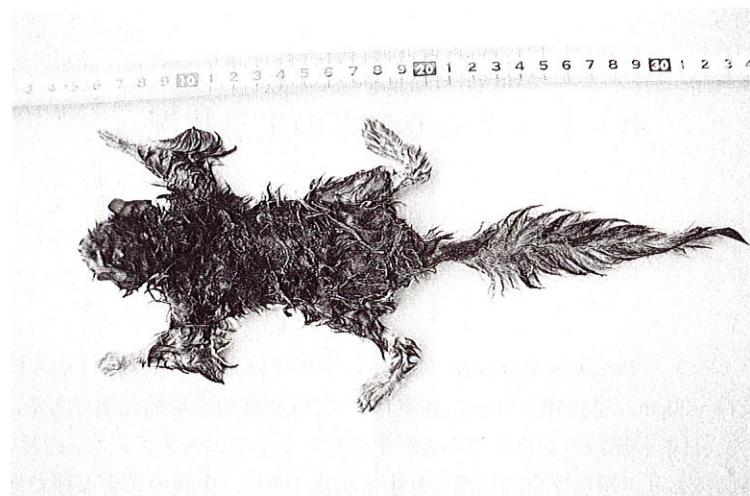


写真1. ホンシュウモモンガの死体（1993年11月2日，撮影：松村俊幸）。

Photo 1. A dead of Small Japanese Flying Squirrel *Pteromys momonga* (Photo by T. Matsumura on 2 November, 1993).

発見地の植生は、網場の周辺が樹高10~15mのミズナラ林で、網場は樹高3~5m程度に刈り払われていた。ミズナラ *Quercus crispula* 以外には、亜高木層にコシアブラ *Acanthopanax sciadophylloides*，リヨウブ *Clethra barbinervis*，網場から数百m離れた尾根には、ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* とキタゴヨウ *Pinus parviflora* Sieb. et Zucc. var.*pentaphylla* などの針葉樹が生えていた。

2. 福井県内の分布

福井県内の本種の記録は計8例得られ、すべて大野市と大野郡和泉村に限られていた（表1、図1）。標高は800m~1,000mで、現存植生図によると、主にミズナラやチシマザサ *Sasa kurilensis* を伴うブナ林帶で、一部は針葉樹の植林地に改変されていた（環境庁 1982, 1988）。

表1. 福井県内におけるホンシュウモモンガの記録。

Table 1. Records of Small Japanese Flying Squirrel *Pteromys momonga* in Fukui.

図番号 ¹	年月日	場所	標高(m)	頭数	出典または情報源	備考
a	1975. 7	大野市上小池		1	福井県自然保護課(1982)	
b	1975頃	大野市上打波嵐谷	810	3	久保藤士継	ツガの幹
c	1982. 5	大野郡和泉村小谷堂	800	1	福井県鳥獣保護センター友の会(1983)	保護飼育後、同所にて放歸 林 哲
b	1983. 8. 26	大野市上打波嵐谷	810	1	久保藤士継、林哲	ツガの根元にて死体採集
b	1988頃~1994	大野市上打波嵐谷	810	1+	久保藤士継	ツガの枝先にて巣を確認
b	1990頃	大野市上打波嵐谷	810	1	久保藤士継	ツガの根元にて死体採集
d	1991頃	大野市上打波嵐谷	1000	1	久保藤士継	
e	1993. 11. 2	大野郡和泉村面谷	930	1	松村俊幸	本報告

1:図1参照

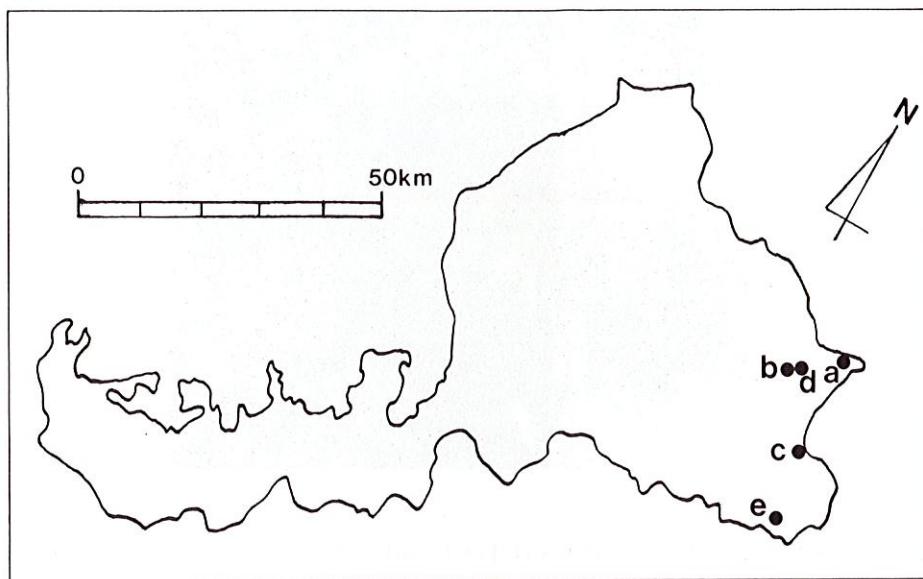


図1. 福井県内におけるホンシュウモモンガの確認地点（表1参照）。

Fig. 1. Location of sighting points of Small Japanese Flying Squirrel *Pteromys momonga* in Fukui (See Table 1).

本種の北陸地方の記録は、石川県で4例、富山県で5例あり、数は少ないが、山地帯上部にかけて広く分布していると考えられる（石川県自然保護課 1993、富山県自然保護課 1980、富山県 1994、湯浅 私信）。また、隣県の京都府では目撃例はあるが、確実な記録は存在しない（京都府森林保全課 私信）。しかし、岐阜県では、低山帯から亜高山帯（標高350m～2,000m）にかけて広く分布し、落葉広葉樹林帯と生息域を同じくしている（岐阜県哺乳動物調査研究会 1984）。

つまり、福井県の分布は、石川、富山両県とほぼ同様に山地帯上部にかけて広く分布する傾向を示し、岐阜県の分布と違いがあることがわかる。今後、北陸各県と岐阜県の分布に違いがみられた原因を調査することが本種の生態を明らかにする上で重要であろう。そのためも、本種の本県内でのさらに多くの観察記録が必要である。

久保藤士継氏の記録の中で特記に値するのは、本種の繁殖記録である。本種の巣は、樹高20m以上のツガ *Tsuga sieboldii* の高さ5m程の位置にあるテングス病の枝の中に存在し、1988年頃から確認していたらしい（写真2、久保 私信）。また、このツガにおいて、1975年には夜間3頭を確認し、1983年および1990年には、根元で死体を採集した（表1）。1994年には、この巣が2羽のカラス類の攻撃を受け、成獣は幹を逃げ回ったが、幼獣が捕らえられたらしい（久保 私信）。モモンガの巣は通常木のうろに存在するが（安間 1985）、今回の観察記録から、本種は針葉樹の枝先にも巣を造ることが確認され、本種の生息にとって

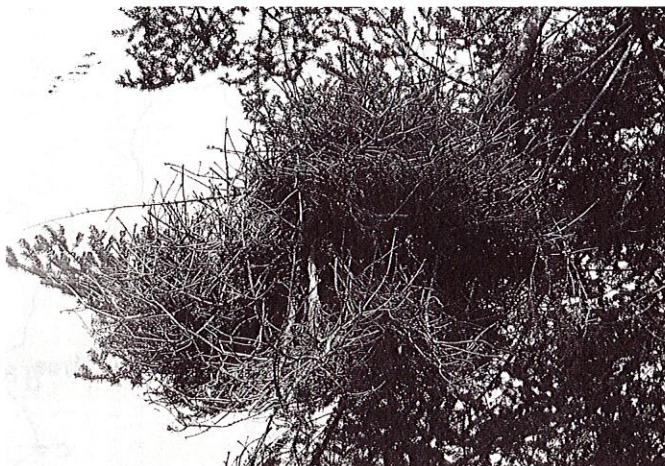


写真2. ホンシュウモモンガの巣 (1994年11月13日, 撮影: 松村俊幸).

Photo 2. A nest of Small Japanese Flying Squirrel *Pteromys momonga* (Photo by T. Matsumura on 13 November, 1994).

針葉樹の重要性が示唆される.

引用文献

- 福井県鳥獣保護センター友の会. 1983. 鳥獣保護センターだより (9):1.
 福井県自然保護課. 1982. 福井県の鳥獣. 福井県自然保護課. 240pp.
 岐阜県哺乳動物調査研究会. 1984. 岐阜県における哺乳類の生息状況とその環境調査及び
 環境教育にかかわる研究. 岐阜県哺乳動物調査研究会. 284pp.
 東谷薰. 1966. 福井県の哺乳類と鳥類. 福井県の生物, pp.65-76. 福井県教育研究会理科
 部会.
 石川県自然保護課. 1993. 石川の動植物. 122pp. 石川県.
 環境庁. 1982. 第2回自然環境保全基礎調査（植生調査）現存植生図. 環境庁.
 環境庁. 1988. 第3回自然環境保全基礎調査（植生調査）現存植生図. 環境庁.
 環境庁自然保護局野生生物課. 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータ
 ブック—脊椎動物編. 331pp. 財団法人日本野生生物研究センター.
 富山県自然保護課. 1980. 富山県の鳥獣. 240pp. 富山県.
 安間繁樹. 1985. アニマル・ウォッチング. 271pp. 晶文社, 東京.

1. 福井県自然保護センター, 〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2

Status of Small Japanese Flying Squirrel in Fukui

Toshiyuki Matsumura[†]

At Omotani in Izumi-mura, Ono-gun, Fukui, a dead Small Japanese Flying Squirrel *Pteromys momonga* was collected in Japanese mist net casted off on November 2 in 1993. Past records of Small Japanese Flying Squirrel in Fukui were 8 instance in Ono-shi and Izumi-mura. One breeeding record was observed at a height of about 5m on a *Tsuga sieboldii* which the height was over 20m at Arasitani in Ono-shi. We need to gather more occurrence records to know status of Small Japanese Flying Squirrel in Fukui

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01

